

「東駿河湾は必要な道路」

三島市幹部と意見交換

さきの衆院選静岡5区で四選を果たした細野豪志氏が十一日、当選後初めて三島市役所を公式訪問し、小池政臣市長ら市幹部と意見交換を行った。細野氏は、政権交代で今後の政策、予算編成に大きな変化が生じる可能性について言及するとともに、地元要望などに誠意を持ってこたえていく決意を示した。小池市長は、市として取りまとめた国県への要望書を手渡し、東駿河湾環状道路の早期完成などを求めた。



小池市長ら市幹部と意見交換する
細野氏＝三島市役所で

5区唯一の選出議員となり、地元の課題や要望を国に伝える役割を担ったことで、自治体との連携強化を図るために細野氏が市に開催を提案した。冒頭、細野氏は「政権交代により私の議員活動も変わってくる。三島市民の要望にこたえられるよう努力していく」などと述べた。小池市長は「細野氏に要望などを行っていく(庁内の)体制を整えた」と、細野氏シフトをアピール。国に

地元要望などを伝えるパイプ役としての活動に期待感をあらわした。

要望書では、国に対して三島社会保険病院の機能存続、国費負担による新型インフルエンザ用ワクチンの接種、公立保育園の施設整備に対する補助など五項目を列挙。県に向けては県東部地域への医科大誘致、森林づくり県民税の使途、谷田幸原線の県施工および三島裾野線の交差点改良などを

四項目について働きかけを求めている。

説明の中で小池市長は、公共事業見直しによって東駿河湾環状道路などの道路整備が滞る可能性に懸念を表明。「東駿河湾は伊豆地区すべての園いである」とし、早期完成を訴えた。細野氏は「道路整備はメリハリをつけて行う。東駿河湾は必要な道路」と述べ、早期完成に向けた働きかけを約束した。

一方、細野氏は、国の本年度補正予算を一部凍結する党方針にからみ、緊急経済対策として市が行う事業の執行状況を聴取。市がすでに進めている単年度事業については